釧路湿原川レンジャー News 2009 Vol.6

第４回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

平成22年3月4日（木）
場所：標茶町茅沼
鶴居村中雪裡

平成２２年３月４日（木）に、「第４回釧路湿原川レンジャー学習会」が開催され、２７名が参加して、茅沼地区で進められている旧川復元事業の現地学習と、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリでタンチョウ学習を実施しました。

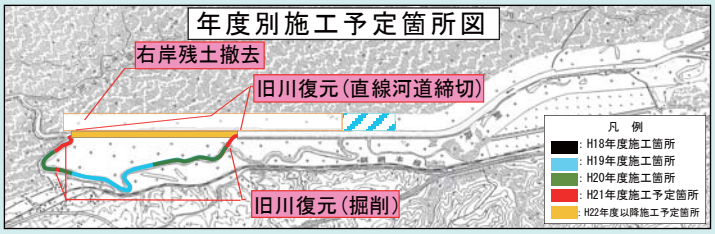
茅沼地区旧川復元事業とは？

釧路川の茅沼地区では、昭和５０年代に洪水対策として河川の直線化を実施し、周辺の土地利用を可能としました。その一方で、湿原植生の減少、湿原中心部への土砂流出量の増加、乾燥化による湿原の減少、湿原らしい河道物理環境の喪失及び湿原景観の喪失など、湿原への負荷が高まりました。このような状況を受け、協議会で議論を進め、茅沼地区旧川復元事業を平成１８年度から実施しています。

茅沼地区旧川復元の実施状況

旧川復元の施工状況

	項目＼年度	H18	H19	H20	H21	H22以降
施工工程	仮設工				旧川河道に切替予定	
	右岸残土撤去（400m）					
	旧川復元（旧川掘削、直線河道締切）					
	右岸残土撤去・直線河道埋戻し					

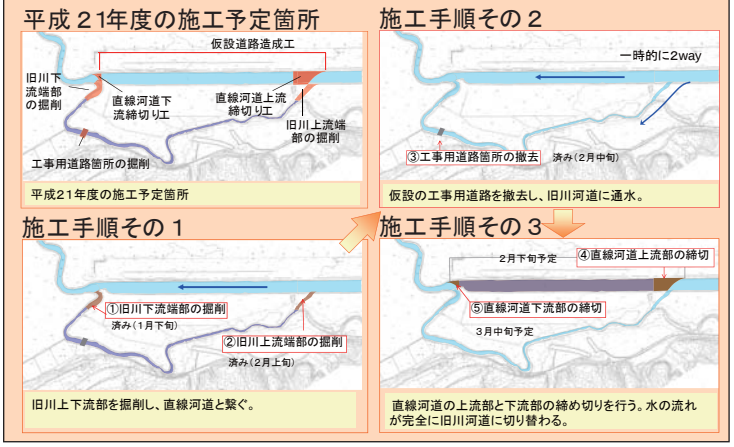


旧川復元の完成イメージ

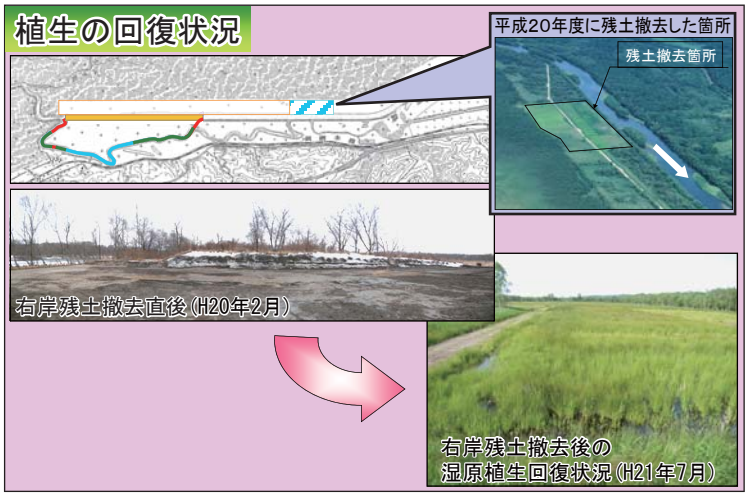
現　況

復元イメージ図

旧川通水の施工手順



植生の回復状況



旧川河道に切り替え中

現地では、旧川に切り替える工事が進み、今は釧路川の流れが旧川に流れています。現在は直線河道下流部の締め切り工事が行われていました。

参加者からは「どのように切り替えが進められたのか？」「川の勾配はどのくらいか？」などの質問が出されていました。

次頁へ

緩やかに流れる旧川区間

対岸では締め切り工事が進んでいる

旧川復元事業の説明

真剣に説明を聞く参加者

切り替えの順序は？

流路の勾配は？

湿原学習

塘路湖エコミュージアムセンター「**あるこっと**」では、釧路湿原国立公園が昭和62年(1987年)に我が国28番目の国立公園として誕生した経過を紹介する「不毛の大地・水の大地（釧路湿原国立公園の誕生）」のＤＶＤを見て、釧路湿原が如何に貴重であるかを再認識しました。

学習会に参加した釧路湿原川レンジャーの皆さん

タンチョウの学習

今年のタンチョウの学習は，鶴居伊藤タンチョウサンクチュアリで行なわれました。

センターでは、レンジャーからスライドを使ってタンチョウの生態や生息状況について詳しく解説して頂きました。現在、日本には千羽以上が生息しているとのことでした。易しい解説をありがとうございました

当日、約１２０羽のタンチョウが飛来しており、多くのカメラマンがシャッターチャンスを狙っていました。

双眼鏡で観察する参加者

今日は約120羽が飛来

タンチョウの解説に聞き入る参加者

スライドを使った解説

易しく解説して頂いたレンジャー

国土交通省
あしたを創る　北の知恵
北海道開発局
釧路開発建設部治水課河川環境係
〒085-8551 釧路市幸町10丁目３番地
０１２０－８９４６－４２（やっぱりくしろしつげん）
http//www.ks.hkd.mlit.go.jp/